

なかの 就労支援ネットワーク News

2002年12月
平成14年
NO.11

発行：なかの障害者就労支援ネットワーク事務局
中野区障害者福祉事業団(ニコニコ事業団)
〒165-0026 東京都中野区新井2-8-13 TEL (03)3388-2941 FAX (03)3388-2942
URL <http://www.next-nakano.com> E-mail office@next-nakano.com

印刷：(社福)東京コロニー
コロニー印刷所
TEL (03)3953-3541
FAX (03)3565-0471

Contents

- ① こんにちは！ シリーズ（第7回）
- ② 企業内授産事業
- ③ 地域ネットワークモデル事業
- ④ 中野区の支援費支給制度のしくみ
- ⑤ シンポジウム就労支援
- ⑥ 初心者向けパソコン教室を開催
- ⑦ ネットワーク会議要約(19回目～22回目)

こんにちは！
コロニー
印刷所
です！

こんにちは！ シリーズ(第7回)

ニーズに沿った施設を目指しています…

社会福祉法人 東京コロニー 身体障害者通所授産施設 コロニー印刷所 星 忍

Q. コロニーさんはどこにありますか。

A. 中野区の北、練馬区に近い新青梅街道と目白通りの間です。北江古田公園、江古田地域センターの近くです。最寄り駅は地下鉄大江戸線新江古田です。歩いて7、8分かな。(地図参照)。

Q. どんな施設ですか。

A. 身体障害者通所授産施設と言って18歳以上の障害者が働きに来ている通所施設です。障害の種類は身体障害だけでなく、知的障害、精神障害の人も利用しています(相互利用と言います)。定員は全部で45名です。現在の利用者は中野区や練馬区、板橋区、豊島区、世田谷区、葛飾区、江戸川区、西東京市などから通っています。年齢は10代から60代で、平均年齢39歳といったところです。

Q. どんな仕事をしていますか。

A. 印刷の仕事が中心ですが、関連した封入、分梱発送業務や、タオルを決められた形に折り箱に詰めて納品する仕事、雑誌のふろくのセット組み等の作業もやっています。

Q. 仕事の時間やお給料などはどうなっていますか。

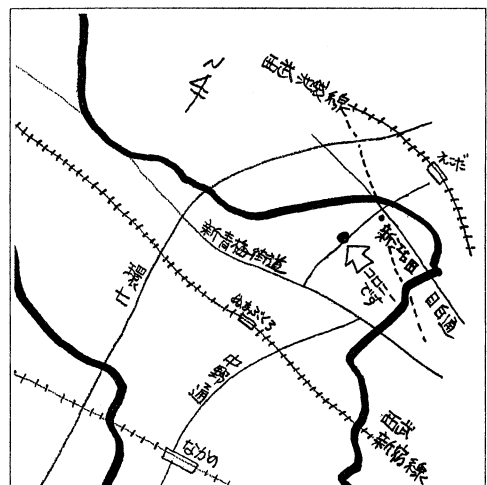
A. 勤務時間は、朝8:50～夕方5:20まで、途中昼に1時間の休憩時間、3時に10分間の休憩時間があります。土、日はだいたいお休みです。お昼は給食が利用できます。お給料は時間給で決められます。

Q. 利用したいときはどうすればいいのですか。

A. まず、お住まいの地域の福祉事務所で「コロニーを利用したいのですが」と言って相談してみてください。福祉事務所の担当の方(ケースワーカー)、または学校の進路担当の先生と一緒にコロニーを見学に来て下さい。直接、コロニーへ相談しても良いですよ。

Q. 今、工事をしているようですが。

A. はい。今年の9月に印刷、製本の部門が東村山市の事業所へ移転になったこと、入所施設で寮があったところが空いたので改修工事をしています。今年中には工事が終了し、別の場所に事務所を借りている営業部と業務課がそこに入る予定です。



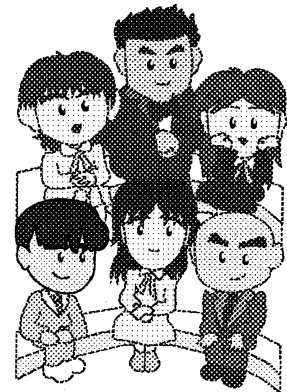
いよいよはじまる、はじめての試み 企業内授産事業！

中野区障害者福祉事業団(ニコニコ事業団)では、一般就労を目指す知的障害者及び精神障害回復者を主な対象にして、更に企業就労に近い就労訓練の場として、企業の工場内の一部を無償で借りて授産活動を行う「企業内授産事業」を始めることになりました。

授産事業の主な内容は、病院やデパート等から回収したトイレ等の容器洗浄から乾燥、磨き等の一貫した流れの仕事を直接企業から受託して、作業指導員及び障害者が、その業務を担い、授産活動の全ての運営を企業が事業団に委託して行うものです。正式な開始日は、平成14年12月中旬を予定しています。

体制としては、3名の非常勤職員と知的障害者3名、身体障害者1名(聴覚)、精神障害者2名で始まります。当面は、毎日の業務をとにかく一生懸命行うことですが、軌道に乗ったところでネットワークの皆さんと見学会をしたいと考えています。ぜひとも、軌道に乗せて拡大を図っていきたいと思います。

これからの取り組みに、乞うご期待を！



東京都授産活動活性化事業

「地域ネットワークモデル事業」がはじまりました。

平成13年及び14年度の期限付きの事業である東京都授産活動活性化事業の地域ネットワークモデル事業が14年度の事業として位置付けられ、我ら「なかの就労支援ネットワーク」として、この事業に参画することになりました。

このモデル事業を利用して、なかの就労支援ネットワークでは、10月中旬から以下の内容で具体的な取り組みを始めています。

【事業の名称】 **ネットワークIT化推進事業**

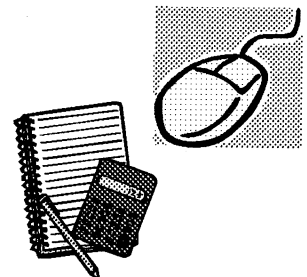
【事業の目的】 ネットワーク内の連絡や共同受注の連絡等の手段が未だFAX中心で、事務作業に時間を要している。また、ネットワーク内での情報の共有化が遅々として進んでいないことが課題として挙げられる。PCを利用してネットワークのIT化を推進していくことで、事務作業の軽減と情報の共有化を図る。

【準備】

- ① ネット内のPC所持、メール等利用状況、課題等の把握(調査)
- ② 手作業(FAXなど)で行われている事務作業の把握と連絡・情報提供手段の見直し
- ③ PC講習会の開催(メールを使って情報のやりとりができるようになる(マナー、基礎知識))
- ④ メール環境整備(メールアドレス取得、メールリスト作成、個別事業所支援など)

【推進するために(メールに慣れPCに触れる機会を増やす)】

- ⑤ 連絡(会議、共同受注など)・情報提供をメールで行う
- ⑥ 個別事業所へのフォローアップを行う(有償PCボラによるサポート(障害者の就労の場を確保))
- ⑦ 中野区内の就労情報などを収集しメールで各事業所へ送付(情報提供)
- ⑧ 効果をみる



教えて！ 中野区の支援費支給制度のしくみ

すでに、2000年度から高齢者の分野では「介護保険制度」が導入され、サービスの利用者とサービスの提供者（事業者）との利用契約によるサービスの利用が始まっています。介護保険は年老いた両親、兄弟姉妹、また自分自身が高齢者になることなどからその関心度は高く、そのせいかマスコミなどにも取り上げられる頻度も高く、私たちは曖昧なまま見切り発車してしまった介護保険制度をみてきました。一方、障害者の分野でも来年度(2003年)から支援費支給制度がスタートします。このことをご存知の方は一体どれくらいおられるのでしょうか。少なくともマスコミの取り上げ方は介護保険の足元にも及びません。中野区では、広報紙に搭載、関係者への説明会などをはじめさまざまな機会を得て情報提供がされています。

私たち、なかの就労支援ネットワークでも支援費支給制度の対象として、東京コロニー(コロニー印刷所)、愛成学園、ニコニコ事業団(居宅支援)など多くの施設が関係し、また今回の改革には直接関係のない施設関係者の方々も施設の利用者が居宅支援サービスを利用しているケースも多々あり、今後の障害者福祉に少なからず大きな影響を与えるであろう支援費支給制度に注目しています。そこで、去る9月5日に中野区の行政担当の方に、中野区における支援費支給制度の考え方や取り組み状況、今後のスケジュールなどについてお伺いする機会を得ることができました。当日はネットワークの参加団体から25名が参加し、質疑応答時間をたっぷり取っていただき、意見交換並びにたくさんの質疑応答など行うことができました。

支援費支給制度のねらいは、利用者自身が自分のことは自分で決める「自己選択・自己決定」を行ない、利用者が住み慣れた地域で普通に暮らすことを実現することです。そのためにもこれまで利用者の障害状況に合わせて限りある資源の中で行政が決定していた措置制度からの決別があります。なかの就労支援ネットワークは身体・知的・精神の三障害が一緒になってきたネットワークです。ですから、支援費支給制度下においてネットワークだからこそできる、しなければならない何かがあるはず。ねらいを絵に描いた餅とせず実体のあるものにしていくことを目指していきたい、そんな思いで取り組んでいきたいと思っています。



シンポジウム「就労支援」開催

..... 中野養護学校主催

去る7月4日に中野養護学校において、「就労支援」についてシンポジウム形式の進路相談会が進路指導部とPTA共催で行なわれました。東京都障害者職業センターの石黒さんから「地域就労支援」について、新宿区チャレンジワークの矢澤さんから「東京都区市町村就労援助事業」について、中野区障害者福祉事業団の堀江さんから「ジョブコーチの実際」について、杉並区障害者雇用支援事業団の小松さんから「知的障害者の職域開発」について、それぞれ報告していただきました。質疑応答、意見交換の後、ハローワーク新宿の三澤統括職業指導官にまとめをしていただきました。

今回の研修会は、全体で87名の方に参加していただくことができました。多彩な報告を本校だけのものにするのではなく、地域の皆さんにも聞いていただき一緒に就労支援について考えていきたいという思いから、地域の障害児学級の担任・保護者、地域の福祉機関や通所施設にもお声をおかけして、本校以外からも27名と大変多くの参加者を得ることができました。中野区関係では、障害者福祉会館の近藤館長さんをはじめとして、会館、保健福祉センター、東京コロニー、ニコニコ事業団、二中、四中からもご参加いただきました。心よりお礼申し上げます。今回の成果をもとに、本校の地域連携のあり方として共同での研修を今後も続けていきたいと考えております。

【追伸】11月1日は、企業関係者の方をお招きして障害者の雇用、就労についての研修会を開催しました。

初心者向けのパソコン教室を開催！

平成14年度「就労支援ネットワークの運営計画」にもあるとおり、ネットワーク参加団体を対象にしたパソコン教室を開催しました。今回は、会場の手配から講師派遣に至るまでNTT東日本のスタッフの方にご協力をいただき、パソコンの定番ともいわれるエクセルとワードの講習会を行いました。

7月2日から2日間にわたって行われた講習会には、16名ずつ計32名が参加し、初心者を対象にしたキーボード操作の基本からワープロや表計算ソフトを使用しての入門編を学習しました。

両日も講師陣やサポート体制も充実している中で、内容でもあるせいか、それぞれ、入門的な学習をマスターしたように感じました。



NTT 東日本のスタッフの皆様、本当にありがとうございました。

【追伸】11月8日、なかの就労支援ネットワークのIT化を図ることをねらいとして、「電子メールの基礎講座」を開催しました。前回同様、NTT東日本のスタッフの皆様のご協力を得ることができました。

就労支援ネットワーク会議要約(19回～22回)

第19回 5月23日開催

- ◆東京都心身障害者職能開発センターでの区からの受託訓練の試行実施について
 - ◎実施案に基づき検討し、適任者いれば推薦する
- ◆13年度の実績作成について
 - ◎共同受注、就労支援それぞれの部門でまとめて作成する
- ◆14年度の研修について
 - ①パソコン研修 ②支援費支給制度
- ◆各部会の課題について
 - ①共同受注部門:仕組み作り ②雇用就労部門:空店舗対策
- ◆報告事項、その他
 - 共同受注実績報告、12,13年度就労支援の実績、14年度役員会構成メンバー報告

第20回 7月19日開催

- ◆ホームページの充実について
 - ◎パソコンを使用し、説明。各事業所が部分修正などをし、内容の充実、発展を図る。今後はチームを編成し、充実を図っていき、工事中のところは早急に内容を入れ込む
- ◆東京都授産活性化事業について
 - ◎13年度、14年度各750万予算ついている。13年度事業はカタログを作成し、商品紹介し、普及させていく。14年度に関して、提案あれば伝えていき、検討していく
- ◆東京都心身障害者職能開発センターの区からの受け入れについて
 - ◎2名の応募あったが、利用する方向にはならず
- ◆情報提供、その他
 - ◎ネットワーク宛てのメールの回答について:共同受注→東京コロニー その他→ニコニコ事業団

第21回 9月27日開催

- ◆東京都授産活性化事業の事業開始について
 - ◎ネットワークIT化推進事業で申請。10月から3ヶ月間。事務作業の軽減と情報の共有化を図ることを目的に進め、メールリストの作成やメール環境整備、講習会の開催などをしていく
- ◆障害者支援費制度について
 - ◎国から個人負担分について出されたが、都はまだ出ていない。区も概略の説明があったが基準については変更があると思われる。10月はじめに申請書出し、28日以降に申請受け付けしていく予定
- ◆平成14年度「知的障害者のための就職準備フェア」
 - ◎就職実習相談会 10月25日(金)中野区勤労福祉会館にて
- ◆情報提供・その他
 - ◎JR東日本労働組合からの「旅のプレゼント」の案内、シンガーソングライター「ゆらぎ」さんからのCDプレゼント

第22回 11月21日開催

- ◆第5杉の子作業所ネットワークの加入について
 - ◎10月1日より10名で開所。法人愛育会の法内化にはまだ入らず。ネットワークの加入を承認
- ◆サーバーの契約更新について
 - ◎2000年より現在のホームページ開始し、1月末で契約2年が切れ、引き続き契約。アドレスについても継続
- ◆東京都授産活性化事業の推進状況について
 - ◎11月8日(金)メール講習会開催
 - ◎メールリスト(全体、雇用・就労、共同受注)と3部門に分け、11月末までにまとめる。PCのない事業所、及びPC立ち上げまで、後のサポート体制を整えていく
- ◆雇用・就労部門会からの報告
 - ◎11月1日(金)雇用就労会議9名参加。今後のNWの役割について意見出し合う。NWの必要性、再確認
- ◆情報提供・その他
 - ◎企業内授産事業について

編集
後記

●*なかの就労支援ネットワークも4年目になりました。「とにかく集まってやれることからはじめよう」という時期は過ぎ、何を目的としてどんな活動をするのかを問われるころにきています。一人ひとりが主人公です。いろいろな方の知恵と発想を集めて、素敵なネットワークにしたいですね(S)。

●*機関紙の発行が大幅に遅れてしまいましたことをお詫びいたします。m () m

